

vol. 49

The News Letter

2024 SUMMER

一般社団法人 日本歯科審美学会

General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

「成就する年」

一般社団法人日本歯科審美学会 副理事長 中村映子



陰陽五行説によると2024年は、甲辰（きのえたつ）で、「甲」は植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があり、2024年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるといわれています。また、さらなる努力をすることで、スピード感をもって成功に近づける年となるそうです。

まさに、パリ2024オリンピック・パラリンピック大会はその象徴ではないでしょうか。組織委員会は「より速く、より高く、より強く」、そして「より包括的で、より愛情深く、より美しい」ものにすると宣言し、また、スローガンとして「人々が新たな感動をともに味わうための、全世界への招待状。我々の大会は、前例のない体験と力強い感情を約束する」を発表しました。それは、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、そして、いろいろな専門分野の先生方が在籍され、一つとなって運営している日本歯科審美学会の「歯科審美学とは、顎口腔系における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、人々の幸福に貢献する歯科医療のための教育および学習に関する学問体系である」という定義に共通していると思いました。

さらに今年は「歯科審美の守破離」というテーマで、第35回学術大会が徳島市のあわぎんホールにて、保坂啓一大会長、細川育子準備委員長のもと、12月7・8日の2日間にわたり開催されます。特別講演、アドバンスセミナー、歯科衛生士、歯科技工士セッションなど歯科審美の守破離についての企画が予定され、楽しみであります。デジタル化・AI化が進む中、基礎を身につけること、先人の知恵を学ぶことが時にないがしろになることもありますが、基礎がなければ応用はできません。基礎があるから成果・成功につながります。日本歯科審美学会では学術大会以外でもホワイトニングコーディネーター委員会、学術講演委員会企画のセミナーが多数開催されておりますので、是非ご参加いただき、皆様の一助となることを確信しております。

日本歯科審美学会は人々の幸福に貢献する歯科医療のために、また会員皆様にとって魅力ある学会でありつづけるために、努力していきたいと思っております。また、会員の先生方のご協力と従業員の先生方のご尽力に厚く感謝申し上げます、さらなるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

学術大会報告

第34回日本歯科審美学会学術大会を終えて

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科保存学分野 大会長 西谷佳浩



第34回日本歯科審美学会学術大会が2023年12月9日(土)・10日(日)に、鹿児島県鹿児島市にある川商ホール(旧 鹿児島市民文化ホール)で対面開催、その後の2023年12月21日(木)～2024年1月31日(水)にオンデマンド配信というハイブリッド形式で開催されました。

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類感染症にされて以降の開催となりましたが、参加登録者数864名(事前参加登録：625名(2023年6月1日(木)～11月15日(水))、当日参加登録：80名、オンデマンド学会参加登録(2023年12月12日(火)～2024年1月30日(火))：159名)もの予想以上に大勢の方にご参加いただき、またその中でも、およそ350名もの参加者の皆様に鹿児島へ足を運んでいただいたことに対して、深く感謝申し上げます。

本大会のメインテーマ『明日へとつなげる歯科審美』には、この高度に発展してきた歯科審美の最新の知見に触れていただき、



理事長講演

明日への研究や診療へと活かし、また今後も変容していく歯科審美に対する需要を満たし、それを超える発展のための一助となればという思いを込めました。

1日目は、特別講演1を「歯科審美における色彩研究」をテーマに、色彩研究の専門家である片山直先生から色調に関する基礎と研究についてご講演いただきました。

日本デジタル歯科学会・日本歯科審美学会共催シンポジウムでは、「CAD/CAMによる審美修復」をテーマにそれぞれの学会から講師および座長を一人ずつお招きし、疋田一洋先生に「CAD/CAM冠から学ぶ審美歯冠修復」の演題で、草間幸夫先生に「審美領域におけるジルコニア修復物の応用への考察」の演題でご講演いただき審美修復・補綴治療について最新の知見に触れることが出来ました。

特別講演2では榎則章先生に「会員の研究活動について医学系学会のはたすべき役割」として、研究者としての行動規範やプロフェッショナリズム、研究倫理、学会としての在り方などを解説していただきました。

特別講演3では、谷口宏太先生に「歯周形成外科でできる審美歯科治療」として、審美修復を行うにあたっての歯周形成外科手術による歯肉形態の改善についての実践的な講演をしていただき



企業展示

ました。

日本歯科医学会招待講演では、日本歯科医学会副会長である小林隆太郎先生に、「歯科界活性化の「チカラ」－医療技術を保険収載する意義－」として、厚生労働省に対する医療技術評価の提案について、提案書や保険収載など解説いただき、新規歯科医療技術の具現化、社会実装の促進を進める日本歯科医学会の取り組みについてご講演いただきました。

2日目は、山本一世理事長による理事長講演「これからの歯科審美の使命～afterコロナの明眸皓歯を目指して～」から始まり、スペシャルセッション「審美歯科のQ&A『こんな時どうする?』」をモデレーターの高木盛興先生をはじめ、パネリストの石川功和先生、茨木浩子先生、金子潤先生、小峰太先生、齋藤功先生、中村映子先生、橋場千織先生、三浦賞子先生、宮崎真至先生らと、日常の歯科審美治療を行う上で生じる疑問について、修復、補綴、矯正、歯科技工、歯科衛生、それぞれの分野について解説していただきました。

学術講演委員会企画では、『前歯部審美領域インプラント治療を成功させるために必要なDr., D.T., D.H. のチームアプローチ』として協智典先生、旗手勝浩先生、長内香織先生に歯科審美治療におけるチーム医療についてご講演いただきました。



懇親会

大会中に開催されたランチョンセミナーでは、梶村幸市先生による「『次世代のセラミックインレー修復』-最新ジルコニアの審美性と修復のコツ-」、吉山昌宏先生による「高審美コンポジットレジン「エステライトアステリア」の使い方」、藤本和泉先生による「審美歯科におけるプロケアとセルフケアを再考する～「綺麗」が続くその訳は・・・～」、宮崎真至先生による「象牙質知覚過敏の原因とその対応の実際」が行われ、全ての会場で盛況でした。

閉会式の後に行われた市民公開講座では、大槻昌幸先生に「全ての人に白い歯を」をテーマに総計94名の聴講者に医療ホワイトニングについて市民の方にもわかりやすくかみ砕いた内容で、ご講演いただきました。

最後になりましたが、大会運営に関しましては、日本歯科審美学会からのCOVID-19感染対策補助金によるご支援により会場内での感染対策およびハイブリッド開催を行うことで、万全の態勢で開催することが出来ました。また、ご講演をいただきました講師の先生方、ご支援をいただきました企業の方々、口腔保健協会や多くのご協力いただいた関係者の皆様に感謝を申し上げ、学術大会の報告とさせていただきます。



懇親会

第35回日本歯科審美学会学術大会のご案内

徳島大学大学院医歯薬学研究部再生歯科治療学分野 大会長 保坂啓一



この度、第35回日本歯科審美学会学術大会を2024年12月7(土)・8日(日)の2日間にわたり、徳島市のあわぎんホール(徳島県郷土文化会館)を会場として開催させていただくことになりました。1990年の第1回大会以来、徳島県での開催はこれが初めてです。本学会の学術大会大

会長を拝命いたしまして大変光栄に存じますと共に、身の引き締まる思いで準備を進めております。

学術大会のテーマは「歯科審美の守破離～革新と進化～」です。「守破離」とは、千利休が茶道において提唱したとされる概念であり、技術や技法の習得過程を示す伝統的な日本古来の概念と言えます。初めに師から教え授かった基本的な技術や知識を「守る」こと、次に学んだ型を超越し独自の方法を模索する、すなわち「破る」こと、そして最終的に真の独自性を追求する「離れる」こと、この三つの段階を歯科審美学に当ては



大会会場のあわぎんホール
(徳島県郷土文化会館、JR徳島駅から徒歩8分)

め、治療技術や知識の習得、応用や革新と関連付けています。本大会では、参加される先生方とともに歯科審美の進化と深化を考え、新しい知見や技術を追求して参りたいとの思いをこのテーマに込めました。

本学術大会では、保存、補綴、矯正、ホワイトニングの各分野のアドバンストセミナーとして、各分野のエキスパートの先生方にご登壇いただきます。また、海外講演 (KAED Sister Academy Session)、学術講演委員会企画講演、ランチョンセミナー、市民公開講座など、多彩なプログラムを予定しております。詳細は、今後、学術大会ホームページにて順次ご案内いたしますので、ご確認をお願い申し上げます。ポスター形式による一般発表も昨年度同様、研究発表や症例報告に加え、認定医および認定士を目指す会員の症例報告も募集いたしますので、多くの先生方のご応募をお待ちいたします。

新型コロナウイルス感染症の収束を受け、生活様式が戻りつつあることから、学術大会は、現地開催といたします。会場のあわぎんホール周辺には阿波おどり会館があり、夏でなくとも1年を通じて阿波踊りを観覧できます。また、徳島市のシンボルである



「いつでも楽しめる阿波おどり」会場近くの阿波おどり会館。阿波踊り体験もできる。また、眉山山頂へのロープウェイもでている。

風光明媚な眉山山頂へのロープウェイもございます。紀伊水道や淡路島を一望できる素晴らしい景色をお楽しみにいただけます。学会参加の合間に、ぜひ会場周辺を散策していただきたいと思えます。

会員懇親会は、感染対策を万全に期して、12月7日(土)に徳島駅直結のJRホテルクレメント徳島にて開催予定です。この貴重な機会に、徳島の海の幸、山の幸をご堪能いただき、親睦を深めていただきたいと存じます。

会員の皆様方、関係各位におかれましては、多数のご参加と引き続きましてのご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。徳島大学大学院医歯薬学研究部再生歯科治療学分野教室員一同、徳島の地で、皆様をお迎えできますことを心より楽しみにしております。



第35回日本歯科審美学会学術大会 フライヤー

海外学会参加報告

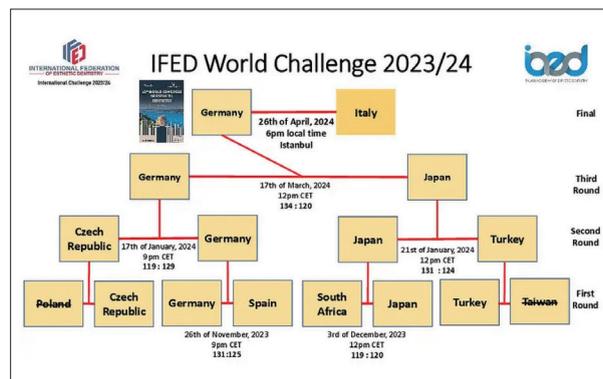
IFED World Challengeのご報告

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 田上直美

2023年秋、International Federation of Esthetic Dentistry (IFED)は新しいプロジェクトとしてIFED World Challengeというコンペティションを企画致しました。各国が正選手2名、補欠選手1名の3名一組のチームを作り、インターネット上で審美歯科治療に関するプレゼンテーションを行い、トーナメントスタイルにてその優劣を競うというものです。優勝チームは2024年4月25日～27日に開催されるIFED学術大会（イスタンブール）で表彰されます。

本企画は若手しか参加できないため、メーリングリストにて若い会員の先生方に呼びかけましたところ、南野卓也先生、畑山貴志先生、米倉和秀先生が快く受諾くださり、南野先生と畑山先生が選手、米倉先生が補欠という日本チームを作らせて頂きました。チャレンジにはチェコ、ドイツ、イタリア、日本、スペイン、南アフリカ、トルコの7カ国が参加し、日本はアジアで唯一の参加国となりました。

皆様がこのニュースレターを読まれる頃は、優勝チームが決まっていると思いますが、2024年4月初旬の時点でのトーナメント



2024年4月上旬時点でのトーナメント状況

ト結果は図の通りです。我らが日本チームは快進撃を続け、残念ながら準決勝でドイツチームに敗れたものの、素晴らしい戦績を残されました。

コンペティションはwebで観覧できましたので、多くの会員がリアルタイムで日本チームの応援をしてくださったと思います。中には、次の機会は自分が、と意気込む若い先生もいらっしゃったことでしょう。日本チームの堂々とした戦い振りは、会員の士気を大いに盛り上げてくれました。

出場された3人の先生からも、「参加して良かった」「価値ある経験だった」「応援が嬉しかった」「素晴らしい先生と出会えて良かった」等のコメントを頂戴いたしました。

お休みの日の夜に、神経をすり減らしながら応戦下さった3名の先生に、またその素晴らしいご講演内容に、心から感謝申し上げます。先生方は今後、日本の顔として国際的に活躍されると確信致します。応援して下さいました多くの会員の皆様にも厚く御礼申し上げます。

(追記) イスタンブールで行われたドイツチームとイタリアチームの決勝は引き分けとなりました。



我らが日本チーム (IFED HPより)

海外学会参加報告

IFEDイスタンブール大会に参加して

渉外統括委員会委員長(大手前短期大学) 中村隆志

2024年4月25日～27日に開催されたIFED(国際歯科審美学会)第13回イスタンブール大会に参加しました。学会に先立ち開催された役員会では、役員の変更があり、トルコのProf. Selim Pamukが会長に、韓国KAED前会長のDr. Wongun Changが次期会長として役員に加わりました。また、今後の学会開催は、2024年ソウル、2026年ニューヨーク、2028年ベルリンに決まりました。

学会の会場は、イスタンブールの中心地にあるWyndham Grandホテルで、参加者は事前登録で約450名、当日登録を入れると500名以上になります。トルコ国内を中心に近隣の欧州や中東からの参加者が多くほとんどは歯科医とのことです。日本からの参加者は数名でしたが、次期開催の韓国KAEDからは会長、元会長を含む19名が来られていました。

学会のプログラムは招待演者による30～60分の講演が中心であり、このほかに、ワークショップ(4月25日のみ)オーラルやポスターのセッションがありました。講演はデジタルを応用した歯科臨床が多かったようです。また、IFEDの若手チャレンジコンペ決勝があり、ドイツとイタリアの代表が症例報告を行った結果、両者引き分けになりました。日本は準決勝で敗退したので次回を期待です。次回のIFED大会はソウルCOEXで2026年の11月14日～15日に開催されます。日本から多くの会員が参加されることを願っております。



World Challenge決勝



世界遺産で開催されたGala Dinner、KAED元会長らと

セミナー報告

2023年度第1回学術講演セミナー開催

学術講演統括委員会委員・学術講演委員会 歯科医師部門委員長
石川明子

2023年度第1回学術講演セミナーを2024年2月25日(日)、日本歯科大学生命歯学部九段ホールで開催した。5年ぶりの対面式開催で78名の参加者が集まった。10時30分より歯科医師部門委員長の石川明子が開会の挨拶を行った後、山本一世理事長が理事長挨拶を行った。今回の企画テーマは、一連の極めるシリーズとして「CAD/CAM製作物の失敗しない装着を極める」とした。3つの演題と4名の講師にご登壇いただいた。

《講演1》

【演題】 レジンセメントを用いた接着の勘所

【講師】 二階堂徹先生(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学 教授)

コンポジットレジン、ニケイ酸リチウム、ジルコニアなどの様々な素材のCAD/CAM製作物に対し、日常臨床において遭遇する各種問題について解説をいただいた。

《講演2》

【演題】 光学印象装置(IOS)を用いたカウンセリングから補綴装置製作

【講師】 小池軍平先生・吉久保典子先生(小池歯科医院)

歯科医師、歯科衛生士の立場から口腔内スキャナーやCAD/CAMを活用した歯科臨床においてクリニカルポイントや使用法・各種製品の特色とその比較について講演いただいた。

《講演3》

【演題】 ラボサイドから見たIOSデータによる補綴製作成功に向けた課題と解決

【講師】 菅原克彦先生(有限会社ケイエスデンタル)

普及が進むデジタル機器の活用において、ラボ・チェア間の情報共有、材料特性と適切な技工操作など、先生のご経験をもとにした課題と解決事例について講演いただいた。

講演終了後には、質疑応答セッションを設け、活発な意見交換がおこなわれた。その後、新海統括委員長より閉会の挨拶が行われ17時にセミナーを終了した。

協賛企業は、(株)ジーシー、ホワイトエッセンス(株)、(株)フォレスト・ワン、(株)メディカルネット、(株)松風の5社にご協力いただき久しぶりの企業展示を行うことができた。5社に対して厚くお礼を申し上げます。

セミナー報告

第57回～59回ホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験の開催報告 ホワイトニングコーディネーター委員会 永里咲恵

2023年11月3日(金)福岡、2024年1月21日(日)神戸、3月17日(日)東京にてホワイトニングコーディネーター講習会・認定試験が行われました。COVID-19感染拡大により講習プログラムをオンデマンドで開催しておりましたが、第56回より従来の対面式での講習会が行われ、受講者は疑問点の解決や知識の再確認を直接していただけたと思います。第57回福岡は114名、第58回神戸は140名、第59回東京は242名が受講され、「歯のホワイトニング基礎編」「歯のホワイトニング実践編」「ホワイトニングにおけるカウンセリングとケア」「こんなときどうする？-患者さんの質問に対して-」の各セッションを設け、それぞれ委員の先生方にご講義いただきました。質疑応答では、より実践的な内容や臨床での悩みについての質問が多く寄せられ、受講者にとっては大変有意義な時間であったかと思われます。厳正なる判定会議の結果、無事に全員合格となり、多くのホワイトニングコーディネーターを輩出することができました。合格された歯科衛生士の皆さまは、ぜひこの講習会で学んだことを日々の臨床に活かし、国民の皆さまへホワイトニングを通して貢献していただきたいと思います。またホワイトニングコーディネーターの皆さまには、専門的な正しい知識と技術の普及のため



第59回 東京会場

「医療ホワイトニング」を正しく提供していただくよう周知、徹底しております。医療ホワイトニング以外でのホワイトニングコーディネーターの名称の使用、ピンバッジの着用、認定証の掲示等はすべて禁止となりますのでご承知おきください。そして、ホワイトニングコーディネーターに留まらず認定士の資格取得を目指し、ホワイトニングのみならず歯科審美全般に関する医療を安全に正しく提供できるよう、多方面で活躍できる歯科衛生士となることを期待しております。

今後の講習会・認定試験の日程として、第60回は2024年7月28日(日)東京、第61回は10月14日(月・祝)大阪、第62回は2025年1月13日(月・祝)福岡、第63回は3月9日(日)東京となっております。有難い事にどの回も多くの参加者がお申込しいただいております。詳細はホームページ(<https://www.jdshinbi.net/>)にてお知らせしておりますのでご参照ください。

コロナ禍も終息となりマスクが外れた今、歯のホワイトニングは需要が高まる一方にあります。次々と歯のホワイトニングに関する新製品が発売されておりますので委員会でも講習会テキストの改定等を行いブラッシュアップしていく予定です。今後も歯のホワイトニングの正しい知識を普及していけるよう委員一同努めてまいりますので、会員の先生方のご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。



ホワイトニングコーディネーター委員

セミナー開催予定

今後の学術講演セミナーについて

学術講演統括委員会委員・学術講演委員会 歯科医師部門委員長
石川明子

学術講演委員会では、今後3つの学術講演セミナーを企画しています。

《第1回学術講演セミナー(Web開催・ライブ配信)》

【日時】2024年5月26日(日) 13:00~16:15

【テーマ】“医療”ホワイトニングを極める

【演者】新妻由衣子(歯科医師・昭和大学歯学部歯科保存学講座保存修復部門講師)

【演者】城生麻里(歯科衛生士・昭和大学歯科病院歯科衛生士室)

【認定単位】あり

【費用】(会員)歯科医師 6,000円 歯科医師以外 3,000円
(非会員)歯科医師 10,000円 歯科医師以外 5,000円

《特別セミナー(Web開催・ライブ配信)》

【日時】2024年6月23日(日) 15:30~16:30

【テーマ】フロアブルレジンを用いた臼歯部修復のポイント

【演者】新海航一先生(日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座 教授・日本歯科審美学会 学術講演統括委員会委員長)

【認定単位】あり

【費用】無料

《第2回学術講演セミナー(対面式開催)》

【日時】2024年9月29日(日) 13:00~16:30

【場所】大阪歯科大学創立100周年記念館(天満橋キャンパス)大講義室

【テーマ】歯周組織に配慮した審美治療を極める

【演者】佐藤琢也先生(歯科医師・大阪府開業・審美学会代議員)

【演者】相見礼子先生(歯科衛生士・広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター)

【演者】岩隈好恵先生(サンスター(株) マーケティング統括部
オーラルケアマーケティング部 BUTLERグループ)

第2回学術講演セミナーでの現段階の決定事項は、ここまです。詳細が決定しましたらホームページあるいはメールでご報告いたします。

学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

北海道大学 名誉教授 佐野英彦



この度は、日本歯科審美学会より学会功労賞を賜り、身に余る光栄と感じております。誠にありがとうございました。私にとりましても、この受賞はこれまでの現役教員時代を改めて振り返る貴重な機会となりました。

日本歯科審美学会と私の関わりは、昭和大学の久光教授からの1本の電話に始まります。その内容は、

「2012年に国際学会(12th Asian Academy of Aesthetic Dentistry, 12th AAAD)の大会長をお願いしたい。その際には、札幌コンベンションセンターでの開催はいかがか?」と記憶しています。保存学会の重鎮の教授からのお願いということもあり、即答でお受けすることになりました。その頃、教室では国際学会開催の経験もなく、加えて歯科審美領域での学会開催ということで、さあどうしようと途方に暮れていたのが実態でした。

まずは情報収集ということで、2010年5/14-16に、クアラルンプールのプリンスホテルで開催の11th AAADに教室のメンバーと参加しました。3日間で行われたこの学会は、世界の著名な審美臨床のスペシャリストからの基調講演や若手からベテランに至るまでの臨床・研究発表など、極めて充実した大会でした。また、久しぶりにジュネーブのD. Dietschi先生ともお話しすることができ、私にとっても有意義な学会でした。

この経験をもとに、札幌コンベンションセンターにて、2012年7/20-7/22に12th AAAD/23rd JAEDを開催することになりました。事前から様々な方々のご協力を得て、基調講演や招待講演の演者を決定することができました。また学術プログラムや市民公開講座等も用意させていただきましたが、学会開催の経験不足もあり、多くの方々に不都合やご迷惑をおかけし、反省の多い大会として終えることとなりました。そのため、ご協力・ご参加いただいた方々には、今でも感謝の念に堪えません。

近年、私どもの外来でも審美に関わるケースが激増していることもあり、関連する研究も活発に行われてくるようになっております。皆様には学会発表等でこれからもお世話になることと思いますので、よろしくご指導のほどお願いします。

最後に、これからの日本歯科審美学会のますますのご発展をお祈り申し上げ、結びの言葉とさせていただきます。

学会功労賞受賞者のご紹介

学会功労賞を受賞して

松尾歯科医院 永瀬佳奈



この度は学会功労賞という身に余る賞を頂き、大変恐縮しております。ご推薦いただいた先生方をはじめ選考委員の先生方、お世話になった先生方には心よりお礼申し上げます。

私の本学会における主な活動としては、2007年からスタートしたホワイトニングコーディネーター制度における委員活動があります。

この制度は歯科衛生士を対象としたもので、これまでに15,000人を超える受講者がおり、現在もキャンセル待ちが出る程の人気の高い講習会となっています。委員活動を通じて私自身も大変勉強になることが多く、歯科衛生士としての仕事の幅も広げることができました。ぜひホワイトニングコーディネーターの資格を取得した皆様にも、ホワイトニングだけにとどまることなく、歯科審美の分野で活躍できる歯科衛生士を目指していただきたいと思います。

また、認定士の資格取得後は、学術大会やセミナーで講演させていただく機会や、学会誌への投稿等もさせていただき、多くの貴重な経験を積むことができました。このような機会を与えていただきましたことにも大変感謝しております。歯科衛生士になり30年以上が経ちますが、本学会での経験によって、歯科衛生士人生がより豊かなものになったと実感しております。

改めまして、この度は本当にありがとうございました。本学会が益々発展されますことを心よりお祈り申し上げます。



優秀発表賞受賞者のご紹介

デンツプライ シロナ賞を受賞して

日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座 新海航一



2022年10月に開催された日本歯科審美学会 第33回学術大会のポスター発表におきまして「デンツプライ シロナ賞」を賜り、大変嬉しく光栄に存じます。本発表を高く評価してくださいました代議員の先生がたに厚く御礼申し上げます。

この学術大会は私が大会長を務めさせていただき、COVID-19が第5

類となる前の時期でしたが、第7波が沈静化しワクチン接種が進んでいることから対面で開催いたしました。とはいえ、演題がどの程度集まるか不安要素もあり、当講座からも積極的にポスター発表の演題を出しました。現在、2級やMOD窩洞に対してもコンポジットレジン修復を適応することが多くなりましたが、修復時にいつも感じているのは隔壁装着の難しさです。そこで、私自身も「2級コンポジットレジン修復の隔壁法に関する考察」というタイトルで演題を登録しました。タッフルマイヤー型リテーナー、マトリックスバンドおよびウェッジを組み合わせた従来の隔壁システムに加え、昨今では、セクショナルマトリックス、ウェッジおよびリング状リテーナーから構成された隔壁システムが、各メーカーから独自のスタイルで販売されております。しかし、窩洞のサイズ、位置、開放角の大きさおよび歯列の状態に応じて適切な形態やサイズのセクショナルマトリックスを選択し、確実に隔壁を装着することが、2級やMODコンポジットレジン修復を成功させるための必須条件です。これらのポイントについて装着例を提示しながら私なりの考察を加えました。代議員の先生がたも日常臨床のなかで隔壁装着の重要性を認識されており、この発表を高く評価しご投票して下さったものと考えております。

大会長自らのポスター発表が思いもよらず「デンツプライ シロナ賞」を受賞したことについては、当初、戸惑いも感じましたが、表彰選考委員会の決定ということで、栄えあるこの賞をありがたく頂戴した次第です。今後も本学会の発展のために尽力して参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

優秀発表賞受賞者のご紹介

スタートアップ発表賞を受賞して

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科硬組織機能治療学 山口耀平



この度、第33回日本歯科審美学会学術大会で発表いたしました「歯科材料を用いたユニバーサルシェードコンポジットレジンのシェードマッチング評価」に対し、スタートアップ発表賞という名誉ある賞を賜り、誠に光栄に思います。本発表を高く評価してくださいました諸先生並びに学会関係者の皆様にこの場をお借

りして深く御礼申し上げます。

近年、従来のようなシェードテイキングを必要としない、ユニバーサルシェードコンポジットレジン (USCR) が各社より製品化されています。これらはコンポジットレジンが元来有している光透過性や光拡散性の調整、構造色などを利用し単一シェードで周囲歯質と色調同化させることを目的としています。USCRを使用するメリットとして、術者の経験や色感の違いによるシェードマッチング精度の差の低減や、シェードテイキング省略によるチェアタイムの短縮などが考えられます。また、単一シェードのみの在庫管理となりコストダウンが可能となります。

本研究では、CAD/CAM用セラミックブロックと硬質レジン歯を用いて規格窩洞を形成し3種類のUSCRを充填、各歯科材料自体とそこに充填された各USCRのシェードマッチングを色彩的に評価しました。その結果、USCRの種類によって色調同化しやすい歯科材料やシェードが異なる可能性が示唆されました。当講座では、USCRについてさらにステイニングした牛歯を用いた研究や光照射前後での色調変化、長期的な色調同化の維持性についての研究も進めております。

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、新潟市で対面開催された今回の学術大会には多くの先生方にご参加いただき、また大変興味深い発表や有益な討議に触れることができ、日ごろの研究や臨床を行う上での大きな励みとなりました。

歯科において、審美性は特に重要な要因であると常日頃から感じております。皆様の日常臨床に有益となる研究ができるようさらに精進したいと思います。最後に、研究をご指導頂いた新海航一教授、鈴木雅也准教授をはじめとする日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第二講座の皆様にご深く感謝申し上げます。

委員会報告

学術講演統括委員会

学術講演統括委員会は、歯科医師 学術講演委員会と歯科衛生士・歯科技工士 学術講演委員会の両委員会を統括し、学術講演セミナーの企画と運営の舵取りを行っております。

2023年度第1回学術講演セミナーは、令和6年2月25日(日)10:30~17:00に対面式(Web配信なし)で日本歯科大学生命歯学部九段ホールにて開催されました。「CAD/CAM製作物の失敗しない装着を極める」をテーマとし、講演1「レジンセメントを用いた接着の勘所」と題して二階堂 徹先生(朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学教授)から午前中にご講演をいただきました。昼食・休憩を挟み、講演2「光学印象装置(IOS)を用いたカウンセリングから補綴装置製作」と題して小池 軍平先生と吉久保 典子先生(小池歯科医院)から、次に、講演3「ラボサイドから見たIOSデータによる補綴製作成功に向けた課題と解決」と題して菅原 克彦先生(有限会社 ケイエスデンタル)からご講演をいただきました。最後に、質疑応答が一括して行なわれ、終了となりました。

2024年度第1回学術講演セミナーは2024年5月26日(日)13:00~16:00に「ホワイトニングを極める」をテーマとし、新妻由衣子先生(昭和大学歯学部歯科保存学講座保存修復学部門)と城生麻里先生(昭和大学歯科病院歯科衛生室)からWeb開催でご講演いただきました。また、6月23日開催予定の第9期総会時における特別セミナーは、「フロアブルレジンを用いた臼歯部修復のポイント」と題して本委員会委員長の私が講演させていただきますことになりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、2024年度の今後における学術講演セミナーの詳細については未定ですので、次号に報告させていただきたく存じます。
(委員長 新海航一)

編集委員会

会員の皆様におかれましては、平素から「歯科審美」の発行にご協力頂き、感謝申し上げます。本年度における編集委員会の基本方針は、やはり原著論文の投稿数を増加させること、と考えております。もちろん、臨床系の学会ですから、症例報告も掲載いたしますが、その際には「歯科審美」の指針に従った内容ならびに記載方法をお願いするところです。

これまで、「歯科審美」の「投稿規定」は、必要事項を加え、不要な項目を削除・修正するなどの改定を経てきました。しかし、この「投稿規定」の中には、字数・行数の指定などの原稿様式を含め、具体的な執筆に関わる細かい項目や注意事項も多く含

まれていました。また、「規定」は個々の条文を、「規程」は個々の規定の全体をさします。規定と規程は混同されている例も多いですが、本来は異なる概念です。

そこで、従来の「投稿規定」を整理し、投稿に関わる重要項目としての「投稿規程」と、執筆に関する具体的な項目である「投稿の手引き」に分け、会員の皆様にお示しすることといたしました。また、これによって「投稿の手引き」については、必要が生じた場合に編集委員会によって迅速に変更できるようになります。

投稿を検討される会員の皆様には、『歯科審美』の最新の「投稿規程」ならびに「投稿の手引き」をご参照くださるよう、お願い申し上げます。
(委員長 宮崎真至)

.....

国際渉外委員会

今年度の国際的な活動について、現在分かり得ている範囲でご報告申し上げます。

International Federation of Esthetic Dentistry (IFED) は、第13回学術大会を4月にイスタンブール(トルコ)で開催致しました。IFED World Challengeについては別項をご参照ください。第14回大会は2年後ソウルで開催される予定です。詳細が分かり次第、広報させていただきます。

Asian Academy of Aesthetic Dentistry (AAAD) は、第18回学術大会を2024年11月29日～12月2日に台北(台湾)にて、台湾審美歯科学会の第30回記念大会との併催という形で開催予定です。日本歯科審美学会からは高橋礼奈先生(東医歯大)が講師として登壇されます。地の利も良く、是非多くの会員の皆様にご参加頂きたいと思っております。大会HP (<https://www.18aaad30taad.org>) を参照ください。

Korean Academy of Esthetic Dentistry (KAED) とは、コロナ禍での交流中断を経て、2022年に交流を再開致しました。演者の派遣は1年おき(韓国と交互)の取り決めで、2024年はDong woon Lee先生が日本審美歯科学会学術大会にてご講演くださいます。KAEDとの交流は、近年益々活発になっています。KAEDの学術大会へも是非ご参加ください。

国際渉外委員会は、日本審美歯科学会の世界に対する影響力を拡大していけるよう、委員会活動を展開して参ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。
(委員長 田上直美)

.....

国内渉外委員会

例年と同様に日本歯科審美学会の社会連携事業の1つとして歯科審美学に関する出張講義を実施しました。2023年度は44の

養成校（歯科衛生士40校、歯科技工士4校）からご希望があり、2024年の2月末までに出張講義を実施しました（写真・講師は大阪大学 峯篤史先生）。前年度の講義の評判が良く、同じ講師の派遣を希望される養成校が多くみられました。講師を受諾いただいた会員の先生方にはこの場を借りて感謝申し上げます。

（委員長 中村隆志）



資格承認統括委員会

2023年11月27日（月）に2023年度第3回認定医審議会・認定医制度運営委員会、認定士審議会・認定士制度運営委員会の合同開催をオンライン会議で実施した。第55期認定医書類審査について、認定医5名を合格とし、認定医（1名）を再提出とした。更新認定医・認定士書類審査について、認定医（3名）、認定士（1名）の提出書類に不備はなく、更新が承認された。さらに、更新手続期間延長申請書について、1名の該当者（認定士）に延長申請が承認された。

2024年2月1日（木）に第4回認定医審議会・認定医制度運営委員会、認定士審議会・認定士制度運営委員会の合同開催をAP東京八重洲10階で実施した。第55期認定医について、症例提示および口頭試問試験を実施し、認定医（5名）を合格とし、認定医（1名）を保留とした。更新認定医・認定士書類審査について、認定医（2名）、認定士（1名）の提出書類に不備はなく、更新が承認された。第56期認定医・第25期認定士申請スケジュールについては、受付期間：2024年4月1日～4月30日、書類審査結果通知は6月頃に行い、症例提示および口頭試問が2024年8月頃である旨、学会誌に掲載しました。認定医は毎年4月と

10月に、認定士は毎年4月に原則として申請期間が設けられますので、今回の申請に間に合わなかった皆様は是非、次回の申請をご検討ください。
(委員長 越智守生)

規則検討委員会

本学会が2015(平成27)年4月1日付で一般社団法人化して早くも9年が過ぎました。この間、任意団体時の規則・細則、内規や申合せ等を定款に整合するよう更訂し、それらを実際に運用しながら、業務執行をはじめとする学会運営が円滑に進むよう問題点を都度鋭意修正して参りました。とくに最近では、社会情勢の変化に応じて、「申合せ」などの細部にわたるところまで「改正」を行う必要性が生じており、担当委員会とともに規定文の整備を行っています。今後も規定文の更なる完成と円滑な運用を図るべく活動して参ります。

法人化された本会の事業の運営・活動は社員総会によりますが、その基盤は会員一人ひとりの意志によってなされています。そのため、何かお気付きの点がありましたらどんな些細なことでも結構ですので、皆様からの忌憚のないご意見を是非ともご教示頂ければ幸いです。

なお、当委員会のメンバーは、委員長：富士谷盛興、副委員長：向井義晴、委員：岸本崇史、齋藤誠、堀江卓(幹事兼任)、峯篤史、脇智典(敬称略、五十音順)です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
(委員長 富士谷盛興)

表彰委員会

第34回日本歯科審美学会学術大会(鹿児島)において以下の表彰事業を行いました。受賞されました先生方、誠におめでとうございます。

<学会功労賞>

佐野英彦(第23回学術大会・第12回AAAD大会長)

<学会功労賞>

永瀬佳奈(現理事)

<優秀発表賞・デンツブライシロナ賞>

新海航一(日本歯科大学生命歯学部歯科保存学第2講座)

<優秀発表賞・スタートアップ発表賞>

山口耀平(日本歯科大学大学院新潟生命誌学研究科硬組織機能治療学)

(敬称略)

(委員長 椿 知之)

表彰選考委員会

厳正な審査の結果、第34回学術大会（鹿児島）におけるデンツプライ シロナ賞（優秀発表賞）・スタートアップ発表賞の選考集計結果についてご報告いたします。受賞おめでとうございます。

〈デンツプライ シロナ賞〉

演題名：ユニバーサルシェードコンポジットレジンで装着されたポーセレンラミネートベニア修復の色調評価

発表者：菅井琳太郎（昭和大学歯科保存学講座保存修復学部門）

〈スタートアップ発表賞〉

演題名：上顎側切歯1歯欠損に対し、デジタルワークフローを活用したインジェクションテクニックにより、ダイレクトボンディングブリッジを行った審美修復症例

発表者：内海雄太（徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔科学研究科再生歯科治療学分野）

（敬称略）

（委員長 橋場千織）

広報委員会

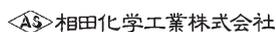
広報委員会の大きな取り組みとして、ホームページのアップデート、ニュースレターの配信を行っており、会員の方々、学会にご賛助いただいている企業、そして国民の皆様へ、有益な情報をお送りできるように活動をしています。

学会の活動は、個人会員の皆様のご支援のみならず、賛助会員の企業様のご支援により支えられています。

ホームページにおいて、日本歯科審美学会各賞受賞者の先生方のお名前を掲載することとなりました。学会功労賞、優秀研究論文賞、優秀臨床論文賞、優秀奨励論文賞、優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）、スタートアップ発表賞の歴代の受賞者のお名前を掲載しております。会員の先生方におかれましても、是非上記の賞についてエントリーください。

今後とも、日本歯科審美学会広報委員会の活動にご助力賜りますよう、よろしくお願いいたします。（委員長 若林一道）

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<https://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
https://www.ivoclar.com/ja_jp



ULTRADENT JAPAN株式会社
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-34-14
初台TNビル3F
Tel: 03-5365-1760
<https://www.ultradent.jp/>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<https://www.quint-j.co.jp>



グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4511-8732
<https://www.haleonhealthpartner.com/ja-jp/oral-health/>

Kuraray Noritake Dental Inc.

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4
常盤橋タワー
Tel (フリーダイヤル) : 0120-330922
<https://www.kuraraynoritake.jp>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (カスタマーサービスセンター・お客様窓口) :
0120-416480
<https://www.gc.dental/japan/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエムヘルスケア ジャパン合同会社
〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (コールセンター) : 0120-332329
<http://www.3mcompany.jp/dental/>



デンツプライシロナ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5階
Tel (フリーダイヤル) : 0120-789123
<https://www.dentsplysirona.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel (フリーダイヤル) : 0120-54-1182
<https://www.tokuyama-dental.co.jp>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17-5F・6F
Tel: 03-5746-0316
<https://www.j-pentron.com/>



ホワイトエッセンス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-12-18
渋谷南東急ビル11F
Tel: 03-6434-1330
<https://www.whiteessence.co.jp/>



株式会社メディカルネット
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル 3階
Tel: 03-5790-5263
<https://www.dentwave.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
E-mail: info@mokuda.co.jp
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-5808-9350
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel (コンタクトセンター) : 0120-178-148
<http://www.yoshida-dental.co.jp>



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人 / 山本 一世

編集 / 一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

制作 / 三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/